

一般会計 決算報告

五條市の財政の収入・支出状況を示す平成18年度決算が、平成19年第3回市議会定例会で認定されました。決算は市民の皆さんによって納められた税金や、地方交付税・国庫支出金などどのように使われたかをまとめたものです。市政を皆さんに正しく理解していただくため、「市の家計簿」である決算の状況をお知らせします。

18年度決算は、合併後初めての年間決算であり、昨年度(旧3団体合計決算値)と比較して歳入で△8.6%、歳出で△8.5%の減少となりました。
この主な減少要因は、公共事業費の縮減ですが、事務費においても10%余りの減少となりました。

また、実質収支では、2億4千3百万円の黒字決算ですが、基金の取り崩しを行うなど厳しい財政状況となっています。

そのため、本年5月に策定した五條市集中改革プランに基づき、明確かつ着実な目標設定により抜本的な改革をスタートさせたところであり、「歳入に見合った歳出構造」への転換等健全化に向け全庁挙げて取り組んでいます。

歳入

三位一体の改革による地方交付税(臨時財政対策債含む)の削減や国庫補助金の一般財源化等により歳入は減少しており、そのため基金の取り崩しや有利な市債の発行などにより財源確保を図っています。

歳出

昨年度と比較し、普通建設事業費で△21%、物件費△11%、人件費△3%の減少となりました。しかし、市債の元利償還である公債費が依然として多額であり、歳出総額を引き上げるとともに実質公債費比率・経常収支比率等の財政指標を悪化させています。

実質収支

財政運営の状況を示す実質収支は、歳入205億5百万円、歳出199億7千7百万円、差引5億2千8百万円となり、翌年度に繰越した事業への財源2億8千5百万円を差引いた実質収支は2億4千3百万円の黒字決算となりました。

市税決算額

市民税	13億7,930万円(39.3%)
固定資産税	16億9,232万円(48.3%)
軽自動車税	8,437万円(2.4%)
市たばこ税	2億0,238万円(5.8%)
都市計画税	1億4,731万円(4.2%)
市税合計	35億0,568万円(100.0%)

